様式3号

とちぎSDGｓ推進企業登録制度　SDGs達成に向けた具体的な取組のチェックリスト

	カテゴリ	SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項	3側面該当 環境	社会	経済	期待レベル	具体的な取組（県などの認証制度の取得事例があれば、併せて記入ください。）	SDGs 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1	人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、人種、出身などによる差別がないことを確認している		○	○	基本	・雇用、教育、昇進・登用、福利厚生などあらゆる雇用条件で、差別しない体制を構築し、経営トップが積極的に関与している。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2	人権・労働	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制が整備されている		○	○	基本	・ハラスメントを禁止する旨を就業規則に明記している。 ・ハラスメント研修の実施している。 ・ハラスメント相談窓口の設置している。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16	
3	人権・労働	【労働時間】 ・過度な長時間労働が行われていない			○	基本	・労働基準法等の内容を理解し、長時間労働是正のための労働生産性の改善、労働時間管理体制、多様な働き方を許容する勤務体制の整備・対応を行っている。								8.5 8.8									
4	人権・労働	【外国人労働者】 ・外国人労働者の差別、人権侵害がないことを確認している		○	○	基本	・外国人技能実習制度技能実習生等の外国人労働者への適切な雇用の機会や労働環境の整備を行っている。（２０２２年度採用サービス職で４名採用予定）				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3							
5	人権・労働	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境が整備されている		○	○	基本	・安全衛生委員会（毎月）を実施し、内容を社内通達、WEB共有サーバー等を活用し周知徹底を行っている。			3					8									
6	人権・労働	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良い環境で維持できるように施策を実施している		○		基本	・メンタルヘルスに関する職場の状況把握を含めた調査を全社員に年一回実施している。 ・メンタルヘルスに対応した休職規程等の整備を行っている。 ・社内野球チームやN-ONEワンメークレースへの参加で社内コミュニケーションを促進している。			3														
7	人権・労働	【ダイバーシティ経営の促進】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）を活かし、十分に活躍できる環境が整備されている		○	○	基本	・障がいの種類や程度に応じた安全管理や安全確保のための施設等の整備、職場環境の改善を行っている。 ・一般事業主行動計画に基づき、子育てや介護等と仕事を両立できる職場環境整備を図っている。					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
8	人権・労働	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等の組織の活性化に取り組んでいる		○	○	応用	・年一回の健康診断を全社員に実施している。 ・インフルエンザワクチン接種を全従業員に実施している。			3					8									
9	人権・労働	【人材育成】 ・労働者に適切な能力開発、教育訓練の機会を提供している		○	○	応用	・職務や役割に応じた研修体系の整備と実施している。				4				8	9								
10	人権・労働	【雇用形態にかかわらない公正な待遇の確保】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿った対応を行っている		○	○	応用	・パートタイム・有期雇用労働法、労働契約法等の内容を理解し、同一労働同一賃金等の原則に沿った体制の整備・対応を行っている。								8.5		10.2 10.3							
11	環境	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、また削減に努めている	○		○	基本	・産業廃棄物処理・マニフェスト管理を、適切に契約業にて遂行している。 ・【予定】廃棄物の種類・量など現状を把握して、削減のための計画を策定する。											12	12.3 12.4 12.5		14			
12	環境	【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	○			基本	・環境家計簿システム環境実績入力（電気・LPG）において、省エネ診断、計画策定進捗を推進している。 ・LED照明転換を促進し節電による省エネルギー化を展開している。							7.3						13				
13	環境	【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、削減を進めている	○		○	基本	・LED照明転換を促進し節電による省エネルギー化を展開している。 ・試乗車、社用車、代車等を低公害な最新車両へ積極的に入替えを行い、CO2削減し温室効果排出ガス削減に取り組んでいる。 ・【予定】算定ツールなどを利用して温室効果ガス排出量を把握し、削減の計画を策定する。							7.2 7.3					12	13				
14	環境	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の削減及び適切な使用に努めている	○	○	○	基本	・有害化学物質アセスメントで法令で規制されている有害化学物質を把握し、削減管理を行っている。			3.9			6.3					12	12					
15	環境	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	○			基本	・フロンガスの回収、再利用し環境保全に対して法令に従い配慮している。 ・廃油、廃バッテリー、廃タイヤを適切に処理処分し環境保全に配慮している。						6.6									15		
16	環境	【水の管理】 ・自社の水の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に努めている	○			応用	・環境家計簿システム環境実績入力において、省エネ診断、計画策定進捗を管理・改善している。 ・節水型自動車洗車機の導入している。						6.4 6.6											
17	環境	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001または同等の環境マネジメント規格を取得している	○	○	○	応用	・環境家計簿システム環境実績入力において、省エネ診断、計画策定進捗を管理・改善している。			3.9			6	7					12	13	14	15		
18	環境	【環境情報開示】 ・自社の環境の取り組みに関する情報を収集し、開示している			○	応用	・【予定】自社環境の取組に関する情報を、自社ホームページにて開示する。												13					
19	環境	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用を進めている	○			応用	・太陽光発電パネル設置拠点を設置している。 （勝田店、勝田北店、勝田本郷台店、鹿行店、真岡中央店）							7.2						13				
20	環境	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達を行っている	○		○	応用	・認証製品（森林、パーム油、ゴム、コーヒー等プランテーションにより生産される原材料、天然水産物および養殖水産物）を利用している。 ・クラウドを使ったWEB報告・社内申請を推進し、ペーパーレス化を実現している。												12	13	14	15		
21	環境	【３Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルの推進を行っている	○		○	応用	・お客様の希望に沿ったリサイクルパーツを使った自動車修理と再生パーツへの資源供給を実施している。 ・【予定】ビニール、プラスチック三削減に向けた、紙ストローやカタログ入れ紙袋化を行う。						6.3						12	12 12.5	13	14	15		
22	公正な事業慣行	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に教育している		○		基本	・毎朝礼でのTホン労行動規範」読み上げ、汚職・贈収賄防止を全社員への周知徹底を励行している。 【予定】行動規範の理解を深める為、年に一度の勉強会を全社員に向けて実施する。																16 16.5	
23	公正な事業慣行	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に教育している		○		基本	・毎朝礼でのTホン労行動規範」読み上げ、自由競争を全社員への周知徹底を励行している。 【予定】行動規範の理解を深める為、年に一度の勉強会を全社員に向けて実施する。																16	
24	公正な事業慣行	【知的財産保護】 ・知的財産を保護するよう、適切な取り組みを進めている			○	基本	・ホームページの自社ブログを日々監視して、知的財産の無断使用防止を実施している。 ・お客様へのサービス提供における該当抵触製品の使用防止を喚起し、保護を促進している。								8.2 8.3	9								
25	公正な事業慣行	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している		○		基本	・Tプライバシーポリシー」にて公表し、体制整備・更新を実施している。 ・e-ラーニングにて全社員に教育している。																16	
26	公正な事業慣行	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している		○		応用																	16	
27	公正な事業慣行	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等に対し、人権侵害（低賃金労働、児童労働、劣悪な労働環境等）の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）のための取組を要請している	○	○	○	応用	・請負業者の責任者に向け、人権侵害の防止と法令遵守への要請を喚起している。 【予定】請負業者スタッフに向け、倫理相談窓口を設置して円滑な労働環境への援護を展開する。					5			8		10		12	13	14	15	16	17
28	製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・自社の製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している		○	○	基本	・新製品や新サービスはWebによる研修を受講させ、商品知識と取扱いの早期習熟を行っている。 ・納車説明にてお客様の既得権を明確に説明している。 ・製品安全確保の観点を踏まえた取扱説明書の重要項目の説明している。			3.9									12					
29	製品・サービス	【品質保証】 ・顧客に品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを確立している			○	基本	・顧客からのクレーム対応（お客様相談室）など、品質を保証する仕組みを構築している。 ・顧客の声を社内共有するための基本方針・体制・ルールの策定している。 ・満足度調査のご案内と、ご協力のご理解への説明を嫉視している。									9								
30	製品・サービス	【環境配慮製品】 ・ライフサイクルで環境に配慮した製品の開発・設計を進めている	○		○	応用	・本田技研工業（株）と連携し、省エネルギー製品の市場品質情報をフィードバックしている。						6						12	13	14	15		
31	製品・サービス	【社会課題解決製品・サービス】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開を進めている	○	○	○	応用	・ペーパーレス化を促進し環境問題を意識した業務を推進している。 ・試乗車へドライブレコーダーを装備して「あおり運転」や「車上荒らし」への効能をPRしている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
32	社会貢献・地域貢献	【地域への影響への配慮】 ・自社事業が地域に及ぼす影響に配慮し、適切に取り組んでいる	○	○	○	基本	・残業時間の削減と予定管理の改善にて、夜間照明・騒音を削減している。 ・近隣歩道等の定期的な清掃活動の実施で貢献している。 ・自動車販売会社として安全運転への全社員教育を行い資格修了をしている。				4					9		11	12		14	15		17
33	社会貢献・地域貢献	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティア等を含む、社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	○	○	○	応用	・栃木県国体開催への車両貸し出しをしている。 ・社内福祉カンパにて、毎年の福祉寄贈を労働組合を通じて実施している。 ・災害時の給電設備提供の登録している。				4							11			14	15		17
34	社会貢献・地域貢献	【地域資源の積極的利用】 ・地域資源の積極的利用（地産地消、地産外商）を行っている	○		○	応用									8	9		11	12	13				
35	組織体制	【法令遵守】 ・法令遵守の考え方が社内に十分浸透している		○		基本	・毎朝礼でのTホン労行動規範」読み上げ、法令遵守を全社員への周知徹底を励行している。 【予定】行動規範の理解を深める為、年に一度の勉強会を全社員に向けて実施する。																16	
36	組織体制	【内部管理体制】 ・経営理念（及びSDGsとの関係）・経営目標の社内への共有が行われている			○	基本	・経営理念を明文化し、各営業所にて掲示し周知している。								8	9								17
37	組織体制	【法令遵守】 ・法令遵守が確実に行われるよう、体制・仕組みが整備されている		○		応用	・毎朝礼でのTホン労行動規範」読み上げ、法令遵守を全社員への周知徹底を励行している。 【予定】行動規範の理解を深める為、年に一度の勉強会を全社員に向けて実施する。																16	
38	組織体制	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に関連する事項に対応する担当、専門部署など体制が整備されている		○		応用	・社内組織（組織図）と役責が明確になっており、各部門間で共有し対応している。																16	
39	組織体制	【リスクマネジメント】 ・法令遵守、環境安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスが整備されている		○		応用	・リスクに対し、本部の指導を受けながら、各リスクへの対応やBCPを制定している。 ・年間２回の社内監査にて、各リスクへの指摘と改善にて構築を実施している。																16	
40	組織体制	【企業の社会的責任】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対し、責任を持って対応するCSR（Corporate Social Responsibility）の取組を進めている		○		応用																	16	
41	組織体制	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダーと対話し、自社活動のステークホルダーへの影響を把握し、適切に対応している		○	○	応用	・ステークホルダーと対話し、自社活動のステークホルダーへの影響を把握している。																16	17
42	組織体制	【事業継続】 ・事故や災害などの発生に伴う事業中断を想定した戦略を立案している	○	○	○	応用	・リスクに対し、本部の指導を受けながら、各リスクへの対応やBCPを制定している。 ・年間２回の社内監査にて、各リスクへの指摘と改善にて構築を実施している。 ・抜き打ちでの従業員安否確認を実施し、確認率と経過時間に課題と対策を実施している。									9		11		13 13.1			16	
43	組織体制	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている			○	応用	・株主と当社取締役にて検討・対策を行って事業継承している。								8	9								17

上記以外で設定した取組項目

	独自に設定したSDGsに資する取組	環境	社会	経済	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1																						
2																						
3																						
4																						

【記載留意事項】
・ＳＤＧｓのゴール・ターゲットのマッピングについては、各項目について、ゴールやターゲットに直接的に当てはまる場合は**黒字**、間接的（結果として）に寄与する場合は**赤字**で番号を記載しています。
（ＳＤＧｓのゴール・ターゲットのマッピングの整数はＳＤＧｓのゴール（例：７）を表し、小数点を含む数字はターゲット（例：7.3）を表しています。）
・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。
なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）
・「非該当」のものについては、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）該当しない場合にその理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。
また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。（※えるぼし認定、森林認証制度　など）